

第 8 期 決算公告

ふくろう少額短期保険株式会社
代表取締役社長 力 石 政 徳

平成 29 年度（平成 30 年 3 月 31 日現在） 貸 借 対 照 表

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
現金及び預貯金	42,571	保険契約準備金	4,741
現金	-	支払備金	2,348
預貯金	42,571	責任準備金	2,393
有価証券	-	代理店借	407
国債	-	再保険借	1,518
地方債	-	短期社債	-
その他の証券	-	社債	-
有形固定資産	922	新株予約権付社債	-
土地	-	その他負債	2,261
建物	-	借入金	-
リース資産	427	未払法人税等	249
建設仮勘定	-	未払金	-
その他の有形固定資産	495	未払費用	1,287
無形固定資産	1,116	前受収益	-
ソフトウェア	1,116	預り金	274
のれん	-	リース債務	427
リース資産	-	資産除去債務	-
その他の無形固定資産	-	仮受金	22
代理店貸	-	その他の負債	-
再保険貸	5,048	退職給付引当金	-
その他資産	4,575	役員退職慰労引当金	-
未収金	2,694	価格変動準備金	-
未収保険料	-	繰延税金負債	-
前払費用	334	負債の部 合計	8,928

未収収益	-	(純資産の部)	
仮払金	125	資本金	40,000
その他の資産	1,422	新株式申込証拠金	-
前払年金費用	-	資本剰余金	40,000
繰延税金資産	-	資本準備金	40,000
供託金	12,000	その他資本剰余金	-
		利益剰余金	△22,694
		利益準備金	
		その他利益剰余金	△22,694
		・・積立金	
		繰越利益剰余金	△22,694
		自己株式	-
		自己株式申込証拠金	-
		株主資本合計	57,305
		その他有価証券評価差額金	-
		繰延ヘッジ損益	-
		土地再評価差額金	-
		評価・換算差額等合計	-
		新株予約権	-
		純資産の部 合計	57,305
資産の部合計	66,233	負債及び純資産の部合計	66,233

(貸借対照表に関する注記)

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。

②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

③リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(2) 消費税及び地方消費税の会計処理

税込方式によっております。

(3) 責任準備金の積立

責任準備金は、保険業法施行規則第 211 条の 46 の規定に基づき算出した金額を計上しております。

2. 資産除去債務に関する事項

本社事務所の不動産賃貸契約に基づく退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務として認識しております。

なお、資産除去債務の負債計上に代えて、不動産賃貸契約に関する敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積もり、そのうち当期の負担に属する金額を費用に計上する方法によっております。

3. 金融商品の状況に関する事項及び金融商品の時価等に関する事項

(1) 金融商品の状況に関する事項

資金運用については短期的な預貯金等に限定しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成 30 年 3 月 31 日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

区分	貸借対照表計上額	時価	差額
預貯金	42,571	42,571	—
再保険貸	5,048	5,048	—
未収金	2,694	2,694	—
代理店借	(407)	(407)	—
再保険借	(1,518)	(1,518)	—

(*) 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(注) 金融商品の時価の算定方法

預貯金並びに未収金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

4. 有形固定資産の減価償却累計額は 2,623 千円です。

5. 当期末における支払備金および責任準備金の内訳は次の通りです。

(支払備金)

普通支払備金（出再普通支払備金控除前）	2,900 千円
<u>同上に係る出再普通支払備金</u>	<u>2,610 千円</u>
差引（イ）	290 千円
I B N R 備金（出再 I B N R 備金控除前）	7,893 千円
<u>同上に係る出再 I B N R 備金</u>	<u>5,835 千円</u>
差引（ロ）	2,058 千円
計（イ+ロ）	2,348 千円

(責任準備金)

普通責任準備金（出再普通責任準備金控除前）	8,978 千円
<u>同上に係る出再普通責任準備金</u>	<u>7,450 千円</u>
差引（イ）	1,528 千円
異常危険準備金（出再異常危険準備金控除前）	1,602 千円
<u>同上に係る出再異常危険準備金</u>	<u>737 千円</u>
差引（ロ）	865 千円
計（イ+ロ）	2,393 千円

6. 1株当たりの純資産額は1,746円05銭です。

7. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しています。

平成 29 年度 $\left\{ \begin{array}{l} \text{平成 29 年 4 月 1 日より} \\ \text{平成 30 年 3 月 31 日まで} \end{array} \right.$

損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	94,483
保険料等収入	91,124
保険料	58,453
再保険収入	32,671
回収再保険金	30,780
再保険手数料	-
再保険返戻金	1,534
その他再保険収入	356
資産運用収益	0
利息及び配当金等収入	0
その他運用収益	-
責任準備金等戻入額	3,354
支払備金戻入額	2,829
責任準備金戻入額	524
その他経常収益	4
経常費用	114,781
保険金等支払金	63,661
保険金等	43,254
解約返戻金等	924
契約者配当金	-
再保険料	19,482
資産運用費用	-
事業費	51,085
営業費及び一般管理費	49,633
税金	339
減価償却費	1,112
退職給付引当金繰入額	-
その他経常費用	34
経常利益（又は経常損失）	△20,297

特別利益	-
負ののれん発生益	-
特別損失	-
価格変動準備金繰入額	-
その他特別損失	-
契約者配当準備金繰入額	-
税引前当期純利益（又は税引前当期純損失）	△20,297
法人税及び住民税	333
法人税等調整額	-
法人税等合計	333
当期純利益（又は当期純損失）	△20,630

（損益計算書に関する注記）

1. 収益および費用に関する金額

（1）正味収入保険料は 39,937 千円です。

（2）正味支払保険金は 12,474 千円です。

（3）支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は次の通りです。

普通支払備金繰入額（出再普通支払備金控除前）	△60 千円
同上に係る出再普通支払備金繰入額	0 千円
差引（イ）	△60 千円
I B N R 備金繰入額（出再 I B N R 備金控除前）	△1,216 千円
同上に係る出再 I B N R 備金繰入額	△1,551 千円
差引（ロ）	△2,768 千円
計（イ＋ロ）	△2,829 千円

（4）責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次の通りです。

普通責任準備金繰入額（出再普通責任準備金控除前）	△638 千円
同上に係る出再普通責任準備金繰入額	△402 千円
差引（イ）	△236 千円
異常危険準備金繰入額（出再異常危険準備金控除前）	△397 千円
同上に係る出再異常危険準備金繰入額	△108 千円
差引（ロ）	△288 千円
計（イ＋ロ）	△525 千円

2. 利息及び配当金収入は全額預金利息です。
3. 1株当たりの当期純損失は2,933円14銭です。
4. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。